

オール・イン・ワン販売キャンペーン開催中【2025年6月1日～2026年3月末まで】



すい臓がんもステージ1から



GOOD DESIGN
AWARD 2024

miSignal^{マイシグナル}

尿がんリスク検査は マイシグナル^{※1} 世界初

マイシグナル[®]は少しの尿で手軽にがんのリスクを
調べられるがんリスク検査です。

高精度なAIで、がんリスクを早期発見

miSignal^{マイシグナル} SCAN

尿をとるだけ!



ノーベル賞を受賞した
「マイクロRNA」を実用化!

医療機関導入
800
軒以上

第37回
中日産業技術賞
中日
新聞社賞



がんの不安、そのままに
していませんか?

つらい治療は
受けたくない

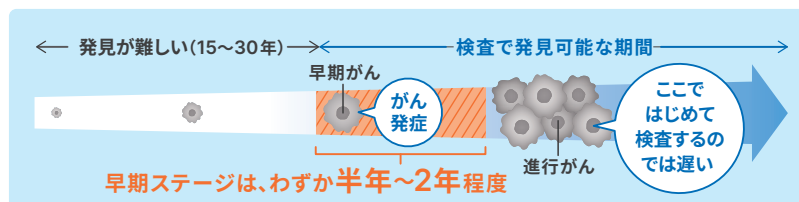
がん家系
だから心配...

お金が
心配...



がん治療で最も大切なこと、それは**早期発見**です。
しかし、早期発見には**タイムリミット**があります。

一般的に検査で発見可能な早期がんの期間
は短く、がんによっては**半年～2年程度**と言
われているものもあります^{※2}。定期的な検査
で早期発見のタイミングを逃さないことが
重要です。 **がん進行スピードの例 ▶**



定期的なリスクの確認で早期発見のタイミングを逃さないことが重要

※事前にご予約が必要となります。
お電話にてお問い合わせください。

一般財団法人 岐阜健康管理センター

TEL 0574-25-2982

尿ですい臓がんのリスク検査 マイシグナル・スキャン

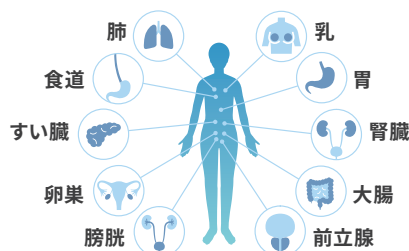
全国約30の大学病院・がん研究センターとの長年の共同研究の末、誕生。
20以上の特許技術※3を用いた、マイクロRNAがんリスク検査です。



ノーベル賞を受賞した
「マイクロRNA」を実用化！

すい臓がんだけでなく、
男女計10がん種を一度に。

男性のがん死者数1位の肺がん、女性で1位の大腸がん※4を含む、男女計10種のがんリスクを一度に、がん種別で調べることができます。



乳がん・卵巣がんは女性のみ、前立腺がんは男性のみ

医療機関導入
800軒以上。

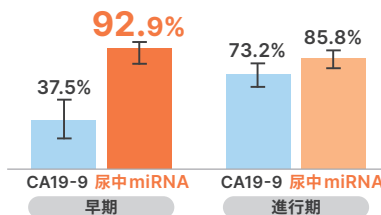
高い信頼性から、日本全国の800以上の医療機関に導入されています。



尿のマイクロRNA検査は、
早期すい臓がんの検出性能が
優れています

尿中マイクロRNA検査は早期がん（ステージI/IIA）の感度が92.9%と、従来のすい臓がん血液マーカーであるCA19-9よりも検出性能が優れていることが示されました。

血液マーカー CA19-9と尿中マイクロRNAの
すい臓がん検出感度※5（ステージ別）



痛みや
身体的な
負担ゼロ！

短時間で終わる

サポートセンターで安心

運動制限なし

検査後にやるべきことが明確

痛くない

食事制限なし

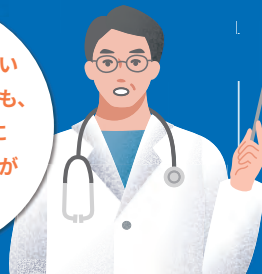


マイシグナル®の検査を行う
「Craif中部検査センター」は
衛生検査所として都道府県知
事の登録を受けております。

詳細な検査結果をまとめた見やすい結果表で、万一の検査後のステップを明示



万が一「がんの疑いあり」となった場合も、
がんの種類ごとに
受診すべき診療科が
明確です。



尿を
採るだけ！

簡単3ステップの
検査フロー

1 検査申込

2 採尿、
提出

3 検査結果を
お届け

検査メニューについて

(税込)

セットに含まれるがん種

			大腸	肺	胃	乳房	すい臓	食道	卵巣	膀胱	腎臓	前立腺
オール・イン・ワン	男性	69,300円	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	女性		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7がん種セット	男性	59,400円	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	女性		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

従来の検査項目7がん種を、男女計10がん種に項目追加いたしました。
2025年6月1日～2026年3月31日迄、69,300円を特別料金64,900円にてご受診いただけます。

注意事項



妊娠中、生理中の方、また20歳未満の場合は本検査は受検できません。

※マイシグナル・シリーズは医療機器ではありません。解析した情報を統計的に計算することによりリスクを判定するものであり、医療行為としてがんに罹患しているかどうかの「診断」に変わるものではなく、リスクが低いと判定された場合でもがんが無いまたは将来がんにかからないとは限りません。※がんの再発、転移について確認するための検査ではありません。

本検査に関するお問合せ

TEL マイシグナル
カスタマーサポート
050-1753-8393

10:00-16:00
(土・日・祝日、年末年始除く)

※1 尿×AI×マイクロRNAを用いたがんリスク検査サービスとして（第三者機関調査）※2 文部科学省「がん教育推進のための教材」スライド教材モジュール3：がんの発生と進行 ※3 出願中も含む ※4 2021 国立がん研究センターのホームページより ※5 本研究成果は世界五大医学雑誌の1つ Lancet の姉妹紙(eClinicalMedicine)に掲載されました。eClinicalMedicine. 2024; 77: 100972.